

山田村 ますこぼう 磐坊

VOL.3  
2003年3月発行

会 報 誌

Toyama TANADA Network

会員数 399名 (H15.3.10現在)

# とやま棚田ネットワーク

棚田を **もっと** **もっと** 元気に。

## 富山県中山間地域等直接支払制度推進大会開催

1月29日、富山国際会議場で富山県中山間地域等直接支払制度推進大会が開催されました。約300名の参加者の皆さんの関心を集めたのは、本制度を活用した地域活性化の活動事例の発表。氷見、朝日、八尾、福光、山田の5市町村から代表者が事例発表を行い、水田を活用したビオトープ、体験農園による地域住民との交流、コスモスやヒマワリなど景観作物の栽培による農村景観づくりなど棚田地域を中心とした取り組みが紹介されました。事例発表の内容については、次のとおりです。



**① 体験農園の開設による子供たちとの交流**  
氷見市論田集落協定  
瀬戸一隆さん

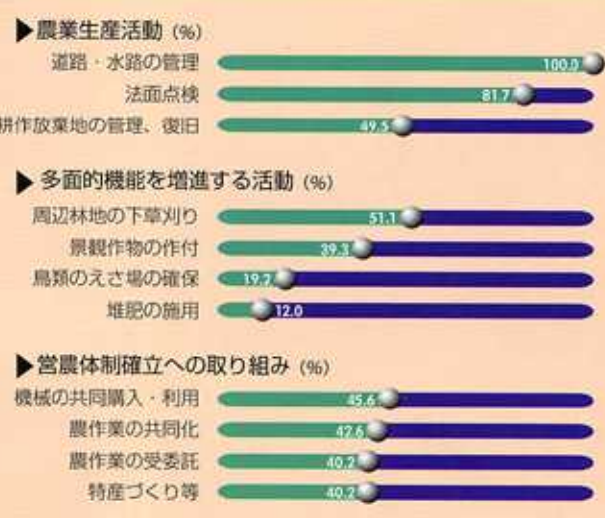
**② 集落ぐるみの道路整備や景観作物栽培の取り組みについて**  
福光町山本集落協定  
廣川幸八郎さん

**③ ため池の維持管理を中心とした活動について**  
朝日町小在池集落協定  
九里正憲さん

**④ 直接支払制度を活用した農業生産体制の確立**  
山田村産業課  
長谷川正信さん

**⑤ 農村景観を活かしたむらづくり活動について**  
八尾町河西集落協定  
大塚宏充さん

### 県内における集落協定の活動状況 (H13)



### 中山間地域等直接支払制度とは？

中山間地域等(主に棚田地域)の集落が手を取り合い、適切な農業生産活動を図ることによって耕作放棄を防止し、水源かん養、洪水防止等の多面的機能を確保することを目的とした制度であり、平成12年度からスタート。農業用排水路の維持管理、畦畔の草刈り、機械の共同購入などに活用され、集落の活性化を支援しています。今後は参加集落の増大をめざして、実施集落の将来像を明確にし、地域の特色を生かした取り組みを充実させていきます。

### 集落協定に関する意向調査 (H15.1 県農村環境課調べ) 集落協定の代表者等を対象としたアンケート調査結果です。



# 今年の棚田も、 ますます元気！

県内各地で取り組まれている棚田保全活動。  
 昨年の活動状況と今年の予定をご紹介します。  
 ホットな話題は、いつも棚田から！  
 平成15年の新たな一歩はもう始まっています。

## 生きる喜びを掘り起こそう

14年度は町内6つの小中学生が農林業の体験学習を通じてふるさとを知り、愛する心を育む事業を行いました。15年度も昨年度と同様に、それぞれの学年ごとに地球に優しいケナフの栽培・刈り取り・紙すきなどに挑戦して地域の文化にふれあっていく予定です。



- 15年度予定
- 小2・・5月/ケナフの種まき
- 小6・・5月/ケナフの苗の移植
- 小5・・6月/ケナフの芯で炭づくり
- 小4・・8月/ケナフの皮で紙すき
- 小3・・9月/ケナフの皮むき
- 中1・・5月上旬・9月中旬/  
ケナフ畑や周辺の自然観察

問 上市町農林課 ▶TEL 076-472-1111

上市町  
種

朝日町  
南保



## 棚田は世代を超えた 交流の場へ

わくわく南保活性化協議会では、11月23日に「わくわく南保収穫祭」を開催。収穫した「もちきび」「そば」を使った餅つき大会・そば打ちに挑戦しました。15年度は収穫祭に参加した地元小学生からのリクエストに応じて、じゃがいも、さつまいもなども栽培したいと思います。しかし、猿の被害を受けるのは必至です。この課題と向かい合い、みんなで「猿落君」を設置し、山へ山へと棚田の輪を広げていきたいと思っています。

問 朝日町農林水産課 ▶TEL 0765-83-1100

黒部市  
田  
み



## そば打ち体験を通して 棚田の大切さを学ぼう

布施谷まつりも14年度で5回目。目玉商品である地場産の山菜加工品はもちろん、今回特に大好評だったのが「ヨモギそば」です。使用したそばは、地元小学生と共に復元した田んぼで栽培したもので、新たな特産品の登場となりました。15年度はそば栽培やそば打ち体験を通して、できるだけ多くの子どもたちに棚田保全の大切さを認識してもらおう機会をつくり、できれば布施谷まつりと同時にそば打ち教室を開催することも検討しています。

問 黒部市農林水産課 ▶TEL 0765-54-2111

## 「みのり棚田の学校」は 交流の舞台

棚田百選に選ばれたことをきっかけに開校した「みのり棚田の学校」。2回目となった14年度

は町内外から17名の参加者を迎え、ガールスカウトや地区内の子どもたちも加わって、第1回目以上の盛り上がりを見せました。田植え、稲刈りの農業体験、「みのり棚田の学校だより」、ホテル観賞会を通じ、都市と農村の交流、世代を超えた交流、地区住民の交流などが生まれ、大変にぎやかな学校となりました。15年度には、新たに星座観賞会も企画中です。また、参加者の方には10月下旬に新米10kgを進呈することも決定。15年度も新たな交流の輪を広げていきます。

問 みのり棚田の学校実行委員会・山西 ▶TEL 076-454-2954  
 八尾町農林課農地林務係 ▶TEL 076-454-3111 (内線466)

※参加募集に関する詳しい情報は裏表紙のインフォメーションで紹介しています。

八尾町  
三  
乗





福光町

おまた  
**小又**

## みんなでやってみんまいけ！ さつまいも掘り体験

キャッチフレーズは「みんなでやってみんまいけ！」。14年度より、小又地内の「ぬく森の郷」横の農地を借り受け、10月13日には親子連れ100名余りが、また10月16日には地元砂子谷幼稚園の園児など35名が参加し、「さつまいも掘り」を体験しました。15年度も10月に開催する予定です。また、去年は思ったほどに花を咲かせなかったコスモスですが、今年は棚田一面に花咲かせるよう集落などが一体となって取り組んでいきます。

問 福光町農林課 ▶TEL 0763-52-1111

## 秋には新米もプレゼント 大好評の「棚田オーナー事業」

長坂地区にある1区画約100㎡の棚田を市内外の皆さんに貸し出しする「棚田オーナー事業」。15年度も55組のオーナー会員を募集します。オーナー会員は、棚田で田植えや稲刈り・はさがけなどの農作業が体験できます。収穫した新米(玄米約40kg)はオーナーの自宅に配送するほか、農業特産品をプレゼント。希望者は「山菜摘採り体験」、「草刈り、かかし作り、竹細工体験」などにも参加できます。また、今年はオーナーの皆さんが自宅でも稲の成長が観察できる「バケツ栽培」の支援をいたします。

問 氷見市農政課 ▶TEL 0766-74-8086



氷見市

ながさか  
**長坂**

小矢部市

みやじま  
**宮島**



## 休耕田で作った 赤カブが、大好評！

14年度、棚田保全活動支援事業による「耕作放棄地利活用活動」がスタート。これを契機に屋波牧・嶺集落で、休耕田を活用した赤カブ栽培に取り組み、秋には品質の良い赤カブを収穫しました。農業祭での販売も大盛況で新聞にも紹介され、出荷先から注文が入るなど、今後の本格生産にも大いに弾みがつきました。15年度以降は、赤カブ以外の特産物にもチャレンジし、子どもたちの農作業体験にも活用していく予定です。

問 小矢部市農林課 ▶TEL 0766-67-1760



利賀村

さかうえ  
**坂上**

## 軽快なラテン音楽が響いた 「みんなで農作業の日」

耕作放棄田を整え、村内外からの参加者によってそばを植える「みんなで農作業の日」も3回目を数え、14年度は7月28日に坂上地区の3カ所の耕作放棄田で約200名が参加して耕地へと復元しました。毎年場所を変えて行なっているこの活動では、地元婦人会の協力もあり、用意していただくおにぎりやそうめんは作業の後の大きな楽しみの一つになっています。15年度も、7月に岩淵地区で開催を予定しています。

問 利賀村産業振興課 ▶TEL 0763-68-2111

## 五位さつまいもを作ってみよう！

さわやかな五位の自然の中、休耕棚田を活用してさつまいもを栽培しています。春の苗植えから夏の手入れ、秋の実りまで、手をかけて育て、収穫する喜びを体験。土の温もりを感じて自然の実りに感謝し、豊かな心を育んでいます。

### ●15年度予定

- 春・5月/植付けとバードウォッチング
- 夏・8月/根返しとバーベキュー大会
- 秋・10月/収穫と焼きいも&餅つき大会

問 福岡町農林課農業水産係

▶TEL 0766-64-5333 (代表)

とやま・ふくおか家族旅行村

▶TEL 0766-65-1177

※参加募集に関する詳しい情報は裏表紙のインフォメーションで紹介しています。

福岡町

ごい  
**五位**



## 参加者募集

### ▶「みのり棚田の学校」



【特典】  
大人の参加者には  
収穫したお米10kgを  
進呈します。

おわら風の盆で有名な八尾町にふるさとをつくりませんか。農作業や草木遊びなど家族や仲間でご参加ください。

募集定員■30名  
(親子一緒に楽しめます)  
場 所■三和会館  
(八尾町下東嶺サンパーク前)  
と き■5月4日(日)10:00～  
春の農作業体験  
8月30日(土)10:00～  
秋の農作業体験  
その他年間カリキュラム  
学習費用■大人10,000円  
子供 5,000円(中学生以下)  
※2日間・全カリキュラム

●入校手続き・お問い合わせ先  
みのり棚田の学校実行委員会(山西) TEL 076-454-2954  
八尾町農林課農地林務係 TEL 076-454-3111(内線466)



●自分で育てたさつまいもの味は最高

### ▶とやま・ふくおか家族旅行村 山ぼうし農業体験 (福岡町五位)

さわやかな五位の自然のなか、休耕棚田でさつまいもを育てませんか。土の温もりを手に感じ、豊かな心を育む農業体験です。

募集定員■親子100組200名(先着順)  
場 所■とやま・ふくおか家族旅行村  
と き■5月11日(日)13:30～  
(予定) 根付けとバードウォッチング  
8月3日(日)10:00～  
根返しとバーベキュー大会  
10月5日(日)10:00～  
収穫と焼き芋&餅つき大会  
募集締切■5月8日(木)

●申し込み・お問い合わせ先  
とやま・ふくおか家族旅行村 TEL 0766-65-1177  
福岡町農林課農業水産係 TEL 0766-64-5333(代表)

## 棚田に関する情報は「とやま棚田ネットワーク」ホームページで

とやまの棚田を知りたい方、関心のある方、活動に参加したい方は「とやま棚田ネットワーク」ホームページをご覧ください。詳しい活動状況を紹介しています。

<http://www8.ocn.ne.jp/~tnoko/tanada/tanada.htm>

## とやま棚田ネットワーク 会員募集中

「とやま棚田ネットワーク」は棚田に興味をもつ人なら、誰でも会員になれる棚田の応援団。棚田をもっと知りたい、保全活動に参加したい、そんな仲間を募集しています。

### ●会員になると

- (1) 会員証が交付されます。
- (2) 会報誌により、棚田に関する取り組みや催しの情報、参加募集の案内が受けられます。
- (3) 保全活動などへの参加は自由です。

### ●会員になるには

原則高校生以上で、棚田のことをもっと知りたい方、棚田に関係している方ならどなたでも会員になれます。

### ●申し込み・お問い合わせ

「とやま棚田ネットワーク」事務局

(社)富山県農業公社設計管理課へ郵便番号、住所、氏名、性別、年齢、職業、電話番号、Eメールアドレス、資料送付先を明記しお申し込みください。

### ●入会状況

平成13年11月29日の「とやま棚田フォーラム」より会員募集をスタート。平成15年3月10日現在399名の方が棚田仲間になりました。



とやま棚田ネットワーク 事務局

〒930-0096 富山市舟橋北町4-19  
TEL 076-441-7398 FAX 076-444-3851  
Eメール noko-1@eos.ocn.ne.jp  
ホームページ <http://www8.ocn.ne.jp/~tnoko/>



お便り募集 会報誌の感想、棚田に関する情報・意見など、あなたの声をお寄せください。また、会報誌に掲載する棚田写真を募集中です。郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・会員番号をお書き添えのうえ、郵送にてお送りください。

とやま棚田ネットワーク会報誌VOL.3  
2003年3月25日発行

富山県農業公社設計管理課内